

日本航空宇宙学会会員各位

平成23年5月12日

日本航空宇宙学会 第43期理事会

宇宙航空研究開発機構 情報・計算工学センター

「HPCIとその構築を主導するコンソーシアムに向けて ー中間報告案ー」
についてのご意見募集

1. はじめに

航空宇宙分野においては、研究・開発の様々な場面に高度計算技術が用いられております。これに関連して、現在我が国では最大規模の次世代スパコン「京」が建設中です。事業仕分けでの指摘をきっかけとして、「京」を単独の超大規模コンピュータではなく、日本のスパコンを総合した HPCI(High Performance Computing Infrastructure)を構築し、その中に位置づけることが求められています。HPCI の構築と利用を主導する場として HPCI コンソーシアムの発足が決定されており、その狙いは、「京」の運用という限られた期間・機材だけではなく、我が国の HPC を長期的・総合的に考えてゆくことにあります。

日本航空宇宙学会はHPCIコンソーシアムへの参加と、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が航空宇宙分野における代表機関(ユーザコミュニティ機関)となることに同意しています(平成22年6月11日第449回理事会決定)。現在、その準備段階コンソーシアムが活動中でJAXAは航空宇宙部門、流体部門のユーザコミュニティ機関および計算資源提供機関として参加しております(準備段階コンソーシアムは大学、独法等のスパコンを管理・運用する 38 機関(重複含む)で構成されております)。詳細は下記URLをご覧ください。

<http://hpcic.riken.jp/>

本格段階、コンソーシアムは平成24年4月に始動する予定です。この度は、平成23年6月の中間報告の取りまとめに向けて、ユーザコミュニティである日本航空宇宙学会会員各位からの、ご意見を募集させていただくものです。

2. ご意見いただきたいポイント

下記 URL で中間報告案(第2回検討総会_配布資料)をご覧ください。

<http://hpcic.riken.jp/consid.html>

案全体に対して幅広いご意見をお願いいたしますが、日本航空宇宙学会および JAXA の立場からは、次の項目が重要なポイントと考えております。

(1)産業利用

現状:

案 17 ページ以降に産業利用について述べられています。4.に「産業ユーザーに対する FOCUS ヒアリング結果まとめ」とあり、計算科学振興財団(FOCUS)が産業利用のヒアリング取りまとめ中心と考えられています。FOCUS の利用推進協議会には何社かの航空宇宙関連企業も含まれていますが、全てではありません。

ご意見募集のポイント:

日本航空宇宙学会所属企業の意見の反映方法は、原案どおり FOCUS がとりまとめるといふことで良いでしょうか？

(2)コンソーシアム構成員

現状:

案 6 ページ, 2.にありますように本格段階コンソーシアムにおいては、準備段階での計算資源提供機関, ユーザーコミュニティ機関に加えて, アソシエイト会員を設けることが検討されております。

ご意見募集のポイント:

準備段階コンソーシアムには学会などのコミュニティーそのものが直接参画することはできませんでした。本格段階のコンソーシアムには日本航空宇宙学会がアソシエイト会員等として直接参画することが可能となりますが、そうすべきでしょうか？あるいは準備段階と同様に JAXA が代表するのが適切でしょうか？また、各カテゴリーでの会員の参加要件・権利・義務に、ご意見をお願いします。

(3)共用資源

現状:

大学の計算センターと JAXA 等の独法の違いを考慮し、開始時点では、主に「京」と大学センターの計算資源を用いる案となっております。JAXA のスパコンは、以前より、JAXA 法に基づき航空宇宙分野の研究開発に限定した形で、大学共同利用および企業への設備貸付が実施されておりますが、HPCI の下での利用には種々の制限が生じる可能性があります。

ご意見募集のポイント:

JAXA の持つ制約のもとで、JAXA スパコンの望ましい参加形態はどのようなものとお考えでしょうか？HPCI 共通ログイン環境が出来たとして、そこから JAXA スパコンにログイン出

来れば大きなメリットがあるでしょうか？

ご意見は、6月11日(土)までに、下記へメールにてお寄せ下さい。

jaxa.jedi.hpci@gmail.com

以上、よろしく願いたします。